

児童館 ぐもぐものひろば



ドミノ積み

南児童館では、8月18日に「ドミノ積み」を行いました。

一分間でドミノをどれだけ高く積めるかを競います。真剣に集中して積んだドミノが途中で崩れてしまった子も、最後までがんばって積んでいました。

やりたくてもお母さんの後ろにかくれて参加できなかった子



が、最後に自分でやりたいと近づいて来てドミノを積んでいました。成長した子どもの姿が見られました。

空き缶つり

西児童館では、8月27日に「空き缶つり」を行いました。

手作りの割りばしつりざおで、たくさん空き缶をつります。慎重に糸をたらして、空き缶の飲み口に針の部分になる割りばしを引っかけて、1分間で何個つれるか挑戦です。空き缶の底には点数が書かれているので、合計点でも競う事ができます。

自分でつり方を工夫しながら、みんな楽しそうに参加していました。



10月の行事予定

○南児童館

☎(04)3456

- ・ドッジボール大会 4日(月)
- ・ママといっしょ 7日(木)
- ・ママといっしょ 14日(木)
- ・長縄跳びで遊ぼう 18日(月)
- ・ママといっしょ 21日(木)
- ・みんなでクッキング 25日(月)
- ・ママといっしょ 28日(木)
- ・ハロウィン 29日(金)

○西児童館

☎(04)2321

- ・ちびっこ広場 1日(金)
- ・ドッジボール大会 7日(木)
- ・ちびっこ広場 15日(金)
- ・雑巾がけに挑戦 19日(火)
- ・絵本の読み聞かせ 20日(水)
- ・おやつクラブ 27日(水)
- ・ハロウィン祭り 28日(木)



思いやりの心で明るい社会を

人権は身近なものです

総務課 推進室
人権

人権問題です。政府が、1969(昭和44)年以降各種の特別対策を講じてきた結果、実態的差別は大きく改善され、2002(平成14)年には特別対策も終了しました。

また、国や地方公共団体をはじめとした人権教育・啓発の取り組みにより、心理的差別についてもその解消が進んできました。しかし、いまだに差別事象が跡を絶っていません。この問題の解決には、国民一人ひとりが人権問題について、一層理解を深め、自らの意識を見つめ直すとともに、自らを啓発していくことが必要です。

えせ同和行為を許さない

えせ同和行為とは、いかにも同和問題の解決に努力しているように装って不当な寄附を募ったり、高額な書籍を売り付けたりとといった行為を、「えせ同和行為」といいます。示談金などと称して不当な金銭要求をすることも同様です。このような行為の横行は、同和問題に対する誤った認識を植え付け、同和問題の解決を拒む大きな要因となっています。えせ同和行為に対しては、行政機関や企業などが密接に連携し、不当な要求には毅然とした態度を取ることなどが必要です。

同和問題の解決には

同和問題とは、日本社会の歴史的過程で形づくられた身分的差別によって、国民の一部の人々が長い間、経済的、社会的、文化的に低い状態を強いられてきました。同和問題は、これらの人々が、今なお結婚を妨げられたり、就職で不公平に扱われたり、その他、日常生活の上でいろいろ大きな差別を受けるといって、重大